

報道発表資料

2019年8月1日
エクイニクス・ジャパン株式会社

エクイニクス、東京 IBX データセンターで

Oracle Cloud Infrastructure へのダイレクト接続を提供

高パフォーマンス、低遅延でのプライベート接続を実現

インターコネクション(相互接続)およびデータセンターサービスをグローバルに展開する**エクイニクス**(Nasdaq:EQIX、日本法人代表取締役 兼 北アジア統括：古田 敬、以下 エクイニクス)は本日、Oracle PartnerNetwork (OPN)の Platinum レベル・パートナー企業として、オラクルの第二世代クラウド・インフラストラクチャーへの専用プライベート接続を、東京の IBX[®](International Business Exchange[™])データセンター(以下 IBX データセンター)に拡張することを発表しました。お客様は、Equinix Metro Connect[™]の直接専用ネットワークリンクおよび Equinix Cloud Exchange Fabric[™](以下 **ECX Fabric[™]**)を利用し、東京のエクイニクス TY4 IBX データセンター内の Oracle Cloud Infrastructure FastConnect サービスを経由して、Oracle Cloud Infrastructure に簡易かつ迅速にプライベート接続できるようになります。オラクルとエクイニクスのネットワーク接続を東京地区で追加することにより、エクイニクスは世界 37 都市で ECX Fabric 経由の Oracle Cloud Infrastructure FastConnect への接続性を提供します。

IDC の調査¹によると、日本はアジア太平洋地域のクラウド市場をけん引する国の 1 つであり、2018 年のパブリッククラウドサービスの市場規模は前年比 30% 増の 45 億ドル(約 4,930 億円)、プライベートクラウドサービスの市場規模も前年比 45% 増の 28 億 5000 万ドル(約 3,120 億円)に達しています。日本においては、今年後半のラグビーワールドカップ 2019 日本大会や東京 2020 オリンピック・パラリンピックなど、大規模スポーツイベントの開催も控えています。この規模のイベントでは、参加者と観客にシームレスなデジタルエクスペリエンスを提供するため、クラウドサービスおよび関連インフラストラクチャーの採用が拡大しています。

ECX Fabric のお客様は、Oracle Cloud Infrastructure との統合により、自社のプライベートインフラストラクチャーと Oracle Cloud 環境の間にダイレクト接続を確立できます。これにより、クラウドの近接性のメリットを享受すると同時に、クラウドおよび IT プロバイダーやその他のビジネスパートナーとの間でセキュアなインターコネクションにより、高パフォーマンスで信頼性に優れ、低遅延でセキュアな環境下で、お客様のプライベートインフラストラクチャーと Oracle Cloud の間で、アプリケーション、ミドルウェア、データベースワークロードを、シームレスに移行することが可能となります。

発表の主なポイント

- オラクルの第二世代クラウド・インフラストラクチャーは、パブリッククラウドによるスケーリング、弾力性、コスト削減を提供するだけでなく、エンタープライズデータセンターに求められるパフォーマンス、制御、ガバナンスに対応し、更に高度なインフラストラクチャーを構築できるように設計されています。Oracle Cloud Infrastructure はエンタープライズ向けクラウドとして設計構築されているため、多層層な従来型の企業アプリケーションや、高パフォーマンスのワークロード、サーバーレスなコンテナベースのアーキテクチャを、いずれも等しく実行できます。
- エクイニクスにおける Oracle Cloud Infrastructure への接続は、インターコネクション戦略の一部としてオラクルへのダイレクト接続を必要とするお客様や、大量データを伴うアプリケーションのクラウド

¹ <https://www.export.gov/article?id=Japan-Cloud-Computing>

移行を必要とするお客様など、多くの企業ユーザーに拡張性に優れたソリューションを提供します。これにより、日々厳格化しているデータプライバシーその他の法規制への対応、およびデータ主権に関する懸念を持つお客様へのサポート品質をさらに向上させることができます。

- Oracle FastConnect を配備するエクイニクス IBX データセンターは、アムステルダム、シカゴ、フランクフルト、ロンドン、シドニー、ワシントン DC/北バージニアに東京が加わり、世界 7 拠点となりました。また、以下の世界 30 都市の IBX データセンターにおいて、ECX Fabric を介した Oracle Cloud Infrastructure FastConnect への接続が可能です。
 - アジア太平洋 5 都市: 香港、メルボルン、大阪、パース、シンガポール
 - アメリカ 13 都市: アトランタ、ボストン、カルペパー、ダラス、デンバー、ヒューストン、ロサンゼルス、マイアミ、ニューヨーク、サンパウロ、シアトル、シリコンバレー、トロント
 - 欧州 12 都市: ダブリン、デュッセルドルフ、ジュネーブ、ヘルシンキ、マドリード、マンチェスター、ミラノ、ミュンヘン、パリ、ストックホルム、ワルシャワ、チューリッヒ
- オラクルとエクイニクスは長期的なパートナー関係を築いています。エクイニクスは OPN パートナーとして最高レベルである Oracle World Wide Platinum レベル・パートナーに認定されています。
- ECX Fabric は、SDN ベースでオンデマンド利用可能なインターコネクションサービスです。これにより企業は、自社の分散インフラストラクチャーと世界最大のネットワークサービスおよびクラウドプロバイダーを含む他社の分散インフラストラクチャーを Platform Equinix® 上で接続できます。
- 現在 ECX Fabric が利用できる世界の 37 都市は、以下の通りです。

東京、大阪、アムステルダム、アトランタ、ボストン、シカゴ、カルペパー、ダラス、デンバー、ダブリン、デュッセルドルフ、フランクフルト、ジュネーブ、ヘルシンキ、香港、ヒューストン、ロンドン、ロサンゼルス、マドリード、マンチェスター、メルボルン、マイアミ、ミラノ、ミュンヘン、ニューヨーク、パリ、パース、サンパウロ、シアトル、シリコンバレー、シンガポール、ストックホルム、シドニー、トロント、ワルシャワ、ワシントン DC、チューリッヒ

コメント

Oracle Cloud Infrastructure プロダクトマネジメント担当バイスプレジデント ヴィナイ・クマー (Vinay Kumar) 氏

「もっとも要求レベルが高いワークロードとアプリケーションにおいては、お客様は自社のデータセンターおよびネットワークからシームレスに Oracle Cloud Infrastructure へ接続する必要があります。Oracle Cloud Infrastructure に接続することで、お客様は必要なプライベート接続を配備し、ビジネスニーズの増加に合わせて簡単に拡張が可能です。Oracle Cloud Infrastructure FastConnect はポートごとのシンプルな価格モデルで、上り/下りの帯域幅による追加料金がないため、データセントリックなワークロードにおいて驚くほどの価値をもたらします。より多くの市場の、より多くのお客様が FastConnect と ECX Fabric を利用して Oracle Cloud に接続できるようになることを楽しみにしています」

エクイニクス・ジャパン株式会社 代表取締役 兼 北アジア統括 古田 敬

「クラウドは主要なビジネス・イネーブラーですが、そこには課題もあります。企業は、マルチクラウドインフラストラクチャー、分散データ、セキュリティ脅威、コンプライアンスリスク管理に関する懸念と、パブリックインターネット経由でのパフォーマンス低下に対応する必要があります。

Oracle Cloud Infrastructure FastConnect と ECX Fabric は、東京、大阪、そして世界中のお客様が超高速、低遅延の高品質なインターコネクションによりこれらの課題に対応することを可能にします」

関連資料

- [Equinix Cloud Exchange Fabric データシート](#) [Web サイト] (日本語)
- [エクイニクスとオラクル:クラウドの近接性によって未来を切り開く](#) [ブログ] (英語)
- [アジア太平洋地域のエクイニクス IBX データセンター](#) [Web サイト] (日本語)
- [エクイニクス上の Oracle Cloud](#) [Web サイト] (日本語)

エクイニクスについて

Equinix, Inc. (Nasdaq:EQIX)は、世界で最も相互接続密度の高いデータセンターにおいて、世界中のトップ企業をそのお客様、従業員、パートナーに接続しています。世界 5 大陸、50 以上の市場をつなぐデジタルビジネスのためのグローバルプラットフォームとして、企業の皆様があらゆる場所で、あらゆる人やモノとつながり、デジタル化された未来を実現していくことを支援しています。 Equinix.co.jp

Oracle PartnerNetwork について

Oracle PartnerNetwork (OPN)は、パートナー企業に Oracle ソリューションの開発、販売、導入の優先的な支援を提供する Oracle のパートナー・プログラムです。OPN では Oracle の製品やソリューションに関し、専門領域におけるトレーニングや専門知識をサポートするためのリソースを提供するほか、拡大する Oracle の製品ポートフォリオやパートナー、ビジネス機会の評価まで、支援を拡大させています。最新の改定ではパートナーの認定制度や「Oracle Cloud」への投資に対する報奨制度の強化を中核に据えています。パートナー企業は Oracle との取り組みを強化することによって、「Oracle Cloud」に関する専門的なノウハウを得て差別化できるだけでなく、「OPN Cloud Program」を通じて顧客に成功をもたらします。「OPN Cloud Program」は、既存の OPN プログラムを補完し、「Oracle Cloud」の推進に取り組むパートナーの認定とそれぞれの段階に応じて特典が用意された、革新的なプログラムです。Oracle PartnerNetwork の詳細については、<https://www.oracle.com/partners/ja/index.html> をご覧ください。

商標について

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその子会社もしくは関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

将来の見通しに関する記述について

本ニュースリリースには、リスクおよび不確実性を伴う将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした将来の見通しに関する記述において言及されている予測と実際にもたらされる結果との間には、大幅な相違が生じる場合があります。そのような相違を生じさせる要因としては、Equinix の製品およびソリューションに関する開発、設置、および提供上の問題、エクイニクスがすでに買収した、もしくは今後買収する企業との統合に関連して発生する想定外の費用または問題、最近建設したもしくは取得したデータセンターにおけるお客様からの収益の大幅な欠如、適宜計画される資金調達の未完遂、既存の競合先ないし新規競合先との競争、キャッシュフロー余力の十分性あるいは未払負債ないし新規の負債を返済するための資金調達能力、主要なお客様とのビジネスにおける損失あるいは減退、REIT (不動産投資信託)としての税制に関連するリスク、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に適宜提出する資料に記載されているその他のリスクが含まれますが、これらに限定されません。詳細については、Equinix, Inc.が米国証券取引委員会に提出した直近の四半期報告書および年次報告書をご参照ください(ご要望に応じ、Equinix, Inc.より入手可能です)。エクイニクスは、このニュースリリースに含まれる将来の見通しに関する情報を更新するいかなる義務も負いません。

本リリースに関するお問合せ

エクイニクス・ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーション

清水 桃香

Email: Marketing-Jp@ap.equinix.com